



はちのす

木戸小学校学校だより
令和5年 2月15日
No.269
在籍児童数400名
令和5年2月1日現在

子どもたちの規範意識を高めるために

校長 土田 学

1月27日（金）の学習参観では、大雪の中でしたが、多くのお家の方から足を運んでいただきました。2年ぶりの懇談会も行われ、子どもたちの学校や家での様子等を担任とお家の方で話をする機会をもつことができました。今回、参観中オープンスペースでの私語を控えていただくことをお願いしましたが、ほとんどの方が守ってくださいしていました。おかげさまで落ち着いた雰囲気の中子どもたちは集中して授業に取り組むことができました。

学校行事の度に毎回思うのが木戸小学校のお家の方々の学校に対する協力の姿勢と意識の高さです。学習参観をはじめ、音楽会での整然とした移動に伴うふるまいなど、子どもたちのよき手本となるものでした。

こうしたことにありがたさを感じるきっかけになる出来事がこの冬休みにありました。30年ぶりに訪れたスキー場のロープウェイの車中で、乗務員の方が「搭乗中の私語はお控えください。」と再三呼び掛けているにも関わらずずっとしゃべり続けているグループがいました（そのグループはロープウェイから降りた後、禁止されていたコース外滑走をしていました）。車内には子どももいましたので、私は（こうしたふるまいを見て同乗していた子どもたちはどう思ったかな）と思いました。

私は今年度で教職35年目となります。仕事柄、子どもたちに指導をする場面が出てきます。そのような時言葉に説得力を持たせるために、「子どもに求めるのであれば自分も率先して行う」「自分ができないことを子どもに求めない」ということを心掛けるようになりました。

昔から「率先垂範」「言行一致」等の言葉があります。木戸小学校の子どもたちはよいモデルとなる存在の方がすぐそばにいてとても幸せだと思います。子どもたちが規範意識を高め、望ましい行動がとれるためにも大事にしていきたい、そのように思います。



学習参観での授業の様子（6年生）



学習参観での授業の様子（3年生）



生活科の雪遊びの様子（1年生）